

ノートルダム清心女子大学同窓会  
社団法人 教育振興ノートルダム清心会

# 会報

第47号

## CONTENTS

- 1 会長挨拶  
学長挨拶
- 2 理事長挨拶
- 3 雑賀美枝前学長を偲んで
- 4 東日本大震災のお見舞
- 5 学生支援事業
- 7 2010年度 活動報告
- 8 美しく生きる
- 9 支部だより
- 10 同窓会より
- 11 総会報告
- 13 大学のページ
- 14 2011年度 活動情報
- 15 ホームカミングデー



## 清心会から同窓会へ

ノートルダム清心女子大学同窓会  
(社)教育振興ノートルダム清心会

会長 **西室典子**



平成二十三年五月二十八日、社団法人教育振興ノートルダム清心会代議員総会において、清心会員の解散が承認されました。今後、岡山県教育委員会の認可、清算を経て、七月末をめどに、清心会はその歴史に幕を下ろすこととなります。

清心会は、平成十六年五月、同窓会の活動をより社会に向けて広げるために、公益法人として設立され、高邁な精神のもと、様々な活動を行ってまい

りました。しかしながら、入会者の低迷により、会費収入が見込めないこと、「同窓会は、公益法人としては不適切」という国の方針転換により、県教委から同窓会的活動を厳しく制限されたこと、さらに、公益事業を増やすようにという再三の指導にもかかわらず、実動できる理事の減少により、思うような活動ができなくなってきたこと等、厳しい現実が直面し、ここ数年その存続自体が危惧されるようになっていました。

このような状況の中、平成二十年十二月一日、国の公益法人制度改革が施行されました。この改革は、公益法人の認定基準を厳しくすることによって、その数を絞り込もうとするもので、現行のすべての公益法人は、いったん特例民法法人となったうえで、向こう五年間、つまり、平成二十五年十一月末

日までに、公益法人、一般法人、あるいは解散を選択し、法人として残るためには、監督官庁に移行申請をし、認定・認可を受けなければならないということです。

私たちは、常務理事会において、公益法人、一般法人に移行した場合をそれぞれシミュレーションしながら、清心会の行く末について協議するとともに、清心会として、私たちが真に望む活動は何かということについて、検討を重ねました。そして、現常務理事の総意として、母校と歩みを共にし、母校の発展に寄与するとともに、同窓生・学生のための活動がしたい、つまり、同窓会的活動を最優先に行いたいということを確認したのです。

幸い、清心会の設立と同時に事実上消滅していた同窓会は、平成二十一年二月に、清心会に未入会のままの学生

を同窓生として送り出すために再設立されております。そこで、私たちは、公益法人、一般法人のどちらを選んだとしても、煩瑣な移行手続き、厳しい活動の制限、さらに、活動が先細りしてきた中で、認定・認可の取消しによる財産没収といった危険を伴う清心会を、移行申請をせずに解散させ、同窓会のみを残すことがベストな選択であるという結論に至ったのです。

今後、清心会の活動は、同窓会が引き継ぐこととなります。同窓会としてのあるべき姿を今一度見つめなおし、母校、同窓生、学生のために、同窓会の良き伝統をふまえつつ、より時代にあった活動を行うとともに、ボランティア活動等を通じて社会に貢献していきたいと思っております。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 薄らぐ伝統的労働観

ノートルダム清心女子大学 学長 **高木孝子**



同窓生の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。

イタリアの古い逸話の中に、「折れ、そして働け (Gira la borsa)」という呼びかけがございます。

このような単純な呼びかけに、言いようのない新鮮さを覚え、日常生活を営んでいく上での励ましを受けるのは、世の中がそれだけ働くことのみで忙殺され、感謝して折る姿勢が薄らいでいるからでしょうか。

### 祈りと労働との調和

この逸話の中には、五世紀、イタリアが生んだ霊性の大家のベネディクトという人が出てまいります。たしかに彼にとつては、祈ることは、生活する上でなくてはならないものです。それがあるからこそ、自分が置かれた位置を知ることでもでき、また働く意欲もわいて、自分の能力の限界に挑むこともできようというものです。

祈りを、言葉で十分に定義することはできませんが、祈りはありのままの神に向かつて心を開くことである、というのが、祈りの本質にもっとも近い表現でしょう。

ありのままの神に―すなわち神につ

いて私たちがつくり上げた神の概念に對してではなく、また想像力によって描いた神に對してでもない。名状しがたい神、すべての言葉と概念を無限に超える神、生きている神、私たちとももにいて私たちに常に愛のまなざしを注ぎ、私たちに希望をかけ、私たちを深くいつくしんでいるその神に對して、心を開いて感謝をささげることなので

この祈りと労働との調和を求めて、ベネディクトは修道会を創立しました。彼の精神に從つて、日本では函館にトラピスト修道会が設立されています。ここでは祈りを大切にしながら、修道者はそのうえ、ひたいに汗を流して働かねばなりません。

「祈りと働き」この二つがいちばん重

全国津々浦々いたるところに鎮座しており、日本人は稲荷の神と深い関係にあることがわかります。

豊川稲荷(愛知県)のご本尊は茶尼天といわれ、稲束を荷(かつ)いでおられます。稲荷信仰で重要なのは、このように「稲を荷ぐ」ということである。「稲を荷ぐ」とは要するに農民の姿をあらわし、その姿が、そのまま稲荷の神でもあるということです。

稲荷信仰が民間にこれほどまでに広く受容されるに至った理由の一つとして、田の神に対する信仰をあげたいと

思います。

それは一年間、田の神様が田んぼで苦勞なさってお米を作ってくださるのです。実際は農民が稲作に従事するのはありますが、稲が収穫できたのは、田の神様のお力によるのであって、その田の神様というのが稲荷の神でもあるのです。

ここに、稲荷さんがお米を作ってくださったという感謝をささげる日本人の伝統的な労働観を見いだすことができます。

### 生活心情を欠く論議

今日、米の輸入自由化をめぐる状況はかなり緊迫しています。一昨年、政府がミニマム・アクセスで輸入した米のうち事故米と判定されたものをある業者が購入し、それを食用と偽って転売していたことが発覚する事故米不正転売事件が起きました。この事件は大きな社会問題となりましたが、しかし、この間の論議からうかがえることは、日本の米作りが経済の合理性とか、国際化といった流れでしか論議されてい

んじられた修道院こそ、多くの聖徳の花が咲きみだれたといわれています。歴史がこの事実を雄弁に物語っています。

労働は、修道的完徳を達成するためになくてはならないものです。労働で人間が神と一体化して、この宇宙の創造に参与する。それは、神体験の場なのです。

### 日本人と稲荷 深い関係

さて、日本ではどのような伝統的な労働観があるのでしょうか。その手がかりとして、稲荷信仰をとりあげてみたいのです。

稲荷といえは、だれでもが知っている神様で、この神様をまつる稲荷神社は、

## 運命と摂理

ノートルダム清心学園 理事長 **渡辺和子**



「運命は冷たいけれども、摂理は温かい」私が五十歳で心に風邪を引いた時、一人のカトリックのお医者さまが、私にくださったお言葉です。

思いがけないことが身にふりかかった時に、それを「運命」と受けとめることもできるのだということを、私はこのようにして教えられました。

どちらで受けとめるかは本人の自由です。いずれにしても、起きたことに変わりはありませんが、何かが違って

いるみたいですね。何が違うかといえは、「私」です。

「私は運が悪い」「周囲が悪かった」「仕方がない、運命だから」と諦める「私」にもなれば、他方、「このことの中には、私へのメッセージがあるに違いない」

と受けとめる「私」にもなることができます。

後者の受けとめ方は、私たちを愛し、私たちの力に余る試練を決してお与えにならない善き神に信頼し、すべてを摂理として受けとめる「私」の態度なのです。

聖書の中にヨハネ福音書があります。その九章を開いてみてください。キリストと、一人の生まれながら目の不自由な男との話が書かれています。

弟子たちが尋ねます。「先生、この人の目が生まれつき見えないのは、誰の罪のせいですか。本人ですか。それとも親のせいですか」

キリストは答えます。「どちらの罪のせいでもない。この人において、神のみわざがあらわれるためである」そう言うから、その人の目に触れて、見えるようにしておやりになったのです。

弟子たちが「なぜ、こうなったのですか」と尋ねたのに対し、キリストの答は、「何のために、こうなっているのか」でした。

摂理として物事をとらえるというのは、この場合、罪の結果として負わねばならぬ運命ではなくて、一つの意味を持つていことに思いを到す姿勢といつてもよいでしょう。

「なぜ」と、原因を究明することも、もちろん大切であり、そこから学ぶことも多くあります。しかし、現在を引きおこした過去にこだわらるよりも、その事象、経験は、私に何を教えようとしているのかと考えることにより、私たちは、より前向きに生きてゆくことができるのではないのでしょうか。この世に無駄なものはないのです。

人類史上、初の八千メートル以上の山アンナ・プルナ登頂に成功したモーリス・エルゾグは、その代償として凍傷のため指を失いました。祝賀会の席上、指のない掌にグラスを持つエルゾグに、人々は賞賛と同時に同情の言葉をかけました。

それに対し、エルゾグはにこやかに答えたそうです。「人々は、失ったものに目を向けがちですが、私は、得た

ものに向けて生きてゆきます」三十五歳で、この大学に派遣された私は、今年卯年の八十四歳を迎えました。この年になって、つい失ったものに向けて目がちな私に、エルゾグの言葉は、得たものに目を向けて生きなさいと教えてくれます。

失ったもの―若さ、体力、その他もろもろの機能。しかし、得たものも、何と多いことでしょうか。もちろん、その筆頭は、卒業生たちです。そして様々の経験と教え切れなほど多くの有難い出会い。

ある方が私に、「ひとのいのちも、ものも、両手でいただきました」と教えてくださいました。卒業証書をお一人おひとり両手でお渡しし、両手でお受け取りになりましたね。でも、生きていく上には、受け取りたくないもの、突き返したいものささがあります。

そういうものも、運命として諦めてでなく、摂理として両手でいただきます。きっと「何かのために」神様が備えてくださったのですから。大切に。

# シスターロザリア 雑賀美枝前学長を偲んで



第四代学長シスターロザリア雑賀美枝先生が、ご病氣のため、昨年八月十日にご帰天なさいました。葬儀ミサは、八月十二日に広島市の観音町カトリック教会で執り行われました。九月十五日には、大学主催で追悼ミサを、続いて同窓会により偲ぶ会を開催いたしました。大学関係者、同窓生合わせて二三百名の方々のご参加のもとに、追悼ミサは大学内のカリタスホールで、ミサ司式は野間神父様によりしめやかに行われました。偲ぶ会は、ラウンジに場所を移し、西室典子同窓会会長の挨拶、

渡辺和子理事長、高木孝子学長のご挨拶、追悼のことばは、名誉教授の江草安彦先生、日本語日本文学科科長の綾目広治先生、卒業生代表として、同窓会長の片岡智子先生からいただき、シスターの生前のご活躍の様子を思い浮かべてまいりました。

そのあと茶話会に移り、限られた時間でしたが、シスターの輝かしいご功績と寛容なお人柄がたたえられ、在りし日のお姿がなつかしく偲ばれました。

シスターは、一九九〇年四月から二〇〇一年三月まで第四代学長の重責を務められ、その間、大学院の設置、ノートルダムホール中央棟の建設など、今日の大学の発展に多大な寄与をなさいました。全国の同窓生の皆様方には、シスターのご講義を受けられた方も多く、この度の突然の訃報に驚かれ、悲しみもひとしおのことと思います。ここにシスターのご冥福を心からお祈り申し上げまして、謹んでご報告させていただきます。

## シスター雑賀へ

ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑

「じゃまたね」  
さわやかな風が過ぎてゆくように  
新幹線ホームに去って行かれたシスターの後姿  
「すこしお瘦せになったかしら」と言いながら  
なんとも言えない安らかな気分の中にわたしはいた  
「思しめしなら」  
与えられた任務にシスターは唯々として従われた  
だれも引き受けたがらない重い仕事、困難な事業  
不思議な力がどこから湧きでるのか  
どんな仕事もシスターはこなし、難事業を成し遂げられた  
そしてその傍らにはいつもあたたかな協力者がいた  
しかし、わたしは知っている  
学長室の机に山積みされた書類に丁寧な目を通し  
新しい教育法規を勉強しておられたことを  
周囲の無理解や誤解に弁解することなく  
黙々と仕事に打ち込んでおられたことを  
痛い腰をかがめ、みんなのために祈っておられたことを  
厳しさを寛容に、重さを軽やかに  
苦さを甘さに変える  
シスターの善意とやさしさ  
人を信じ、人を許すおらかさ  
シスターいつまでもわたしたちの心の灯台でいてください

## シスター雑賀を偲んで

十五期・国文 香山キミニ

平成二十二年八月十一日、シスター雑賀の訃報に接した。シスターには長い間お世話になった。昭和四十二年、シスターは、国文学科の専任講師として着任され、私は国文研究室の助手であった。当時学科は古典叢書の刊行に取り組んでいた時で、シスターは『後撰集』を担当された。又『紀要』や『古典研究』などに優れた論文を発表され、「兼実家十度百首について」(『紀要』第二号)は『和歌大辞典』にも紹介されている。

平成二年、本学第四代学長に就任され、教育者として「人を育てる教育」に力を注がれた。同七年には大学院を設置して「アカデミックな女性の育成」にも尽力された。そのお人柄に深く接するようになったのは、平成十四年、国文学科創設五十周年の記念行事に私が関わった時からである。「伝統については、変えてはいけないもの」と変えなければならぬものがあり、その判断を誤ってはならない」など多くのことを学ばせていただいた。

シスターはまっすぐで、その上、すべてを受け容れてくださるような寛容なお人柄であった。お目にかかる度、いつも身内のような温かさとお安らぎを感じた。文箱に大切にしまっているシスターの書簡は、どの文面にも慈愛に満ちた優しさが溢れている。金祝の時の「これからも召された道を歩み続けてまいります」のお言葉のとおり、修道者として、教育者として一筋に歩まれた偉大な方でいらっしやう。長い間のお働きに対して心からの感謝を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

## 学部・大学院・同窓会でのシスターの思い出

二十三期・国文 院二期 藤田雅子

学部時代に「シスターロザリア」とお呼びして、『建礼門院右京大夫集』を教えていただいたシスター雑賀は、二十三年後に私が大学院に入学した時には、学長になっていらっしやうました。「学問を通して、人間の真に生きる道を見出だして下さい」とおっしゃった入学式の式辞を、今も鮮明に思い出します。

大学院では、シスターの歌合の講義を受講しました。「六百番歌合」の神祇・釈教の題意を教えていただいたことは、何よりも貴重な経験となり、その後の私の『藤原俊成の研究』に繋がっています。また、修士課程の修了に当たって、シスターは修士論文審査の副査をして下さいました。その日、付箋でいっぱい私の修士論文を持って来て下さったシスターは、数々の質問の後に「〇頁の〇行は、点の位置がおかしくないですか?」と、読点の位置を直して下さいました。今になって思い返してみますと、拙い論文を丁寧に読んでいただいたことは本当にありがたいことでした。

卒業後私は、シスターのご発案の五十周年記念行事、「大江健三郎講演と大江光の音楽によるコンサート」のお手伝いという得難い体験をさせて頂きました。そしてそのご縁で、同窓会の活動に携わるようになりました。そこで、皆の意見を深く傾きながら、熱心に聴いて下さるシスターのお姿を拝見して、深い感銘を受けたものです。心からの感謝を込めて、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 略歴

- 一九二六 神奈川県生まれ
- ノートルダム清心女子大学文学部卒業
- 日本大学大学院博士課程終了
- 一九五三 ナミュール・ノートルダム修道女会入会
- 一九五六 清心女子高等学校・中学校奉職
- 一九六四 新潟清心女子高等学校校長就任
- ノートルダム清心学園理事
- 一九六七 ノートルダム清心女子大学講師
- (助教授・教授を経て)
- 一九八〇 ノートルダム清心女子短期大学学長就任(一九九〇まで)
- 一九九〇 ノートルダム清心女子短期大学第四代学長就任
- 一九九六 ノートルダム清心女子短期大学学長兼務
- 二〇〇一 ノートルダム清心女子大学学長退任
- 二〇〇一 四月 同大学名誉教授
- 二〇〇三 ノートルダム清心女子短期大学廃止により学長退任
- 二〇一〇 八月十日 広島市にて逝去 享年八十四歳

## 東日本大震災のお見舞

東日本大震災におきまして、被災された皆さまに、お見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を、心よりお祈りしております。

なお、同窓会では、全同窓生の気持ちといたしまして、義援金200万円を、3月15日に山陽新聞社会事業団を通じて、贈らせていただきました。



写真は山陽新聞社提供

## 奨学生支援バザー

平成二十二年度「大学祭協賛・奨学生支援バザー」を、十一月六日・七日に大学ジュリーホールにて開催いたしました。  
会場には、全国各地の同窓生の皆様から寄せられた多くの寄贈品と、バザー部員が月二回集まって作成した心のこもった作品を、机の上に所狭しと並べ、お客様のお越しをお待ちしておりました。  
高木学長、渡辺理事長も、お忙しい中、足を運んでくださり、感激いたしました。  
喫茶コーナーも大変好評で、クッキーも早々と完売となりました。  
多くの方楽しんでいただき、盛況のうちに無事終了することができました。  
皆様からの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。



平成22年度バザー協力者一覧（年度別・敬称略）



## マナー講座

学生支援として、毎年開催しているマナー講座は、社会人となり生き生きと自分らしく輝いてゆくための実践講座です。  
平成二十二年十月二十七日、全日本作法会教授、吉井睦美先生（十四期・国文）に「就職活動の心得」―クールビューティー―と題してお話いただきました。  
1 企業の求める人材  
2 就職試験  
3 面接を前にして  
4 紹介は紹介のルールに従う  
5 話し上手は聞き上手  
6 職場では報連相  
7 お迎え三歩 見送り七歩  
実例と実践を通して丁寧に楽しくご指導いただきました。  
参加した学生たちには、大変好評でした。日本のよき伝統は、日常生活の中で美しく生きていくために、必要な事だと改めて感じました。  
在校生への支援事業の一環である「マナー講座」を、これからも充実させていきたいと考えております。



## 奨学金事業

◆平成二十二年度奨学生指導・報告会◆  
奨学金委員会では、平成二十二年五月十五日と十一月二十七日の二回、平成二十二年度奨学生に対し、指導・報告会を行いました。  
一回目は、奨学生も決意発表ということで、緊張した面持ちでしたが、二回目は、なごやかな雰囲気の中、奨学金委員からの励ましの言葉を受け、各自自覚を持ち、成長している様子を感じられました。

◆新たに八名の奨学生を決定◆  
平成二十二年十二月四日に選考会を開き、厳正な審査の結果、八名の奨学生を選出しました。  
応募の対象者は、昨年度より本学の学生・大学院生のみとなっております。

## 公務員・教員採用試験対策学内講座

本年度の受講者数は次の通りです。  
● 公務員試験対策学内講座 51名  
● 教員採用試験対策学内講座 45名

## 平成二十二年度 同窓会奨励賞

平成23年度  
ノートルダム清心女子大学同窓会奨学生  
2011年4月現在

活動が顕著な部に対して、同窓会から奨励賞を贈りました。

### ● 学術文化の部

#### ■ 団体

ISA, ハンドベル部, 漫画研究部, ボランティアグループ

#### ■ 個人

### ● スポーツの部

#### ■ 団体

弓道部, バドミントン部, テニス部, バレー部

## Microsoft Office Specialist (MOS) 資格対策講座

Word 通年 106名  
Excel 通年 237名  
Word 短期 63名

合計 406名  
受講中!

## パソコン資格取得講座

本年度より、次の講座を開講いたしました。



# 美しく生きる

## ホームカミング

平成二十二年九月二十日、大学構内においてホームカミングデーを開催しました。厳しい残暑の中、来賓として学長、理事長はじめ諸先生及び歴代会長の十一名の方々を含め百五十名の同窓生が一同に会し、充実したひと時を過ごしました。学長の「いのちに限りがあることを」と題するご講演を頂きました。その中で「死」という一生の中で最も荘厳な瞬間でありながら、普段話題としてできるだけ遠ざけていた問題について、真摯に受け止めていかなければならないことを学びました。

母校は昨年大学創立六十周年を迎えたので、その変遷と発展をスライドにより紹介したところ、出席された皆様から懐かしい映像に好評を頂きました。建物や学内の様子は変わっていても、全体としてのしつとりと落ち着いた雰囲気は今も生きています。また創立六十周年の記念として大学が発行した冊子【INDSUCLECTION】を増刷させて頂いたご出席者に配布し、そして卒業後五十年を迎えられた八期の皆様にはお祝いに、理事長のサイン入り御著書をプレゼントいたしました。

全員でのイマキュラタ、大学歌の合唱が会場一杯に響き渡った時は、同窓生の絆が深まる一瞬でした。閉会の後も遅くまで友人との別れを惜しみ、「来年、またね」という声があちらこちらから聞こえました。大学内のアットホームな雰囲気の中で文字通りのホームカミングデーとなりました。ホームカミングデーとは卒業時に学長から「行つてらっしゃい」と送り出していた母校に年一度「ただいま」と、帰ってくる日です。今回参加できなかった方も次回は是非、同期、同科の方たちとともにクラス会としてご利用くださいませ。

## 生徒達に書く楽しみを

北川久美子 二二期・国文



「教師になりなさい」というお母様の勧めで教師になられた北川久美子さんは、三十七

年間国語教師として勤めておられます。今では、「教師こそ私の天職だ」と思われています。

赤磐市立吉井中学校で教えられている傍ら、文章表現活動の一貫として市民向けの「源氏物語講座」を開いておられます。また、川柳や作文を新聞に投稿したり、文章にまとめたり表現の質を向上させるために、プロの詩人、歌人に働きかけをされています。その活動が認められ、二〇一〇年七月読売教育賞国語教育部門最優秀賞という大賞を受賞されました。

吉井中学校での表現活動で、生徒の無限の可能性を実感され、「教師の情熱が伝われば生徒が変わることが一番の幸せ」とおっしゃっています。

最愛のお父様との永遠の別れをきっかけに「自分らしい生き方とは何か」を考え、母校の大学院に社会人入学し、「源氏物語」の勉強をされました。大学院でも多くの尊敬する師に出会い、勉強することの楽しさを知り、現場に帰っても「教師が勉強することの大切さ」を訴えておられます。

「勉強はあなたを裏切らない」「ピンチはチャンス」を人生の座右の銘として、「退職後も、文学研究を続けたい、また源氏物語や作文の講座も続けたい」と今後の抱負と夢を熱く語ってくださいませ

## 生涯教育

平成二十二年十一月七日(日)、大学祭開催時に渡辺和子理事長に、「マザー・テレサが遺したものと」を題して、ご講演をいただきました。

ノーベル平和賞を受賞され、日本にも三度来日されたマザー・テレサの、「人を人として一人一人にぬくもりを与え、言葉で生きてあげてほしい」「自分の身の周りで生きていく勇気を失っている人たちがいることに気付いて、そこで喜んで働いていける人になってほしい」「ほほえみや優しい言葉掛け、手を握ってあげることなど身近なことに愛を注いでほしい」ということばをマザー・テレサの遺言として紹介されました。

また、マザーのような生活はできなくても、これから出会う一人一人を、かけがえのない存在として接していくことはできるとされたうえで、「大切なのは群衆ではなく、一人一人なのです。数の陰に隠れた一人一人の魂を忘れてはなりません」と心を込めてご講演をしてくださいました。



『マザー・テレサが遺したものと』  
ノートルダム清心学園 渡辺和子理事長

## 病院で通訳ボランティアとしても

高市真須美 二八期・英文



現在、済生会病院で秘書と広報の仕事をしていらっしゃいます。院長秘書が、この仕事

のスタートでした。済生会病院では、外国人妊婦さんや、海外からの研修生も受け入れています。その為、コミュニケーションとしての通訳が必要となり、大学で学んだ語学を活かして、通訳としての役割も果たすようになりました。

大学時代に、理事長の授業の中で「雑用と思つてすべてが雑になりなすよ」とおっしゃったお言葉が心に残っておられます。今、自分ができる範囲で、どんな些細なことでも、可能な限り丁寧に相手の立場を想って、行動するように心がけていらっしゃいます。

毎日の仕事では辛いと思つたことはなく、常に楽しい気持ちでがんばつてこられました。小さなことでも「手伝つてくれてありがとう」と言われると、やはりこの仕事をしていてよかつたと思つておられます。

病院内での緩和ケア(ホスピス)に手芸やお茶のサービス、情報コーナー(本の貸し出し)などのグループがあります。ご自分の趣味である手芸やパッチワークも活かすことができたいと思われています。

人を支える為に済生会病院にはボランティアの制度もあります。皆さんのあいた時間に一ヶ月に二回程度でもご参加いただけると嬉しいのですがおっしゃっていました。

## ボランティア

### ゆめ文庫

「ゆめ文庫」では点訳絵本を製作し、貸出しをしています。市販されている絵本に文字を点字にして貼り付け、絵の部分には透明フィルムを用いてわずかな段差をつけ、手でなぞって形が判別できるように工夫しています。「子どもたちが本の内容を理解しやすいように」また「視覚の有無を問わず共に楽しめる本を」と願つて。盲学校の先生から、「子どもが自分で本を読む楽しみを覚え、貸出しを心待ちにしている」との感謝の手紙をいただきました。

また今年度は、視覚障害者の生活に役立つ情報の音声化を行い、全国の読者に届けている社会福祉法人日本点字図書館の「〇雑誌」や「点字毎日」に「点訳絵本ゆめ文庫」の紹介記事を載せて頂き、問い合わせや貸出しが増えました。

この一年で二十六冊の絵本が完成し、延べ百八十一冊の点訳絵本が出来上がりました。

### エンジェル会

「子ども達が夢まつりで一生懸命」うらじゃ」を踊る姿に感動！元気をもらったわ」年に数回の定例会での話です。旭川荘の療育園・睦学園では園生とふれあい、一緒にお菓子を作ったり、遊んだり、水分補給や車椅子での散歩の補助などをさせていただいています。夏休みには宿題の手伝いもします。児童院では、おしめたたまやおしめ組み・繕いを作ります。エンジェル会の刺繍の入ったエプロンをして。また園からの要請で「こどもまつり・夏まつり・夢まつり」に参加し、車椅子の園生とお店で買い物したり、ステージを観たりしてひと時を楽しみました。夏まつりでは、思いがけず母校の大学生と一緒に活動できました。

旭川荘では毎日七千枚のおしめが必要で、洗濯場から運ばれ、山積みされたおしめ。同窓生のみなさま、一緒に活動しませんか。

## ゆめ文庫 新刊目録

- おてつだいだいすき
- わたしとあそんで
- いとしの犬 ハチ
- アンパンマンのクリスマス
- 猿蟹合戦
- おやすみなさい
- 舌切雀
- ぐりとぐらのおきやくさま
- マッチウリの少女
- なつはぐんぐん
- くまとやまねこ
- こびとのくつや
- とりかえっこ！ねずみくんのチョコキ
- あきはいろいる
- 桃太郎
- 十二支のはじまり
- ちいさなくし
- ババだいきすきママだいき
- 鼠の嫁入と文福茶釜
- セロひきのゴーシュ
- バルバルさん
- にんじん
- おにたのぼうし
- もしも ゆきが あか だったら
- いない いない ばあ
- ねずみくんのクリスマス
- ようちえん
- ちよつとだけ
- もつたいないばあさん

## アマダのスタッフとして

難波 妙 三二期・英文



特定非営利活動法人アマダ・代表部で参事として災害の起きた国へのAMDA多国籍医

師団派遣という大切な業務に携わっておられます。三人の子育てをしながら時差の関係で日夜問わずの激務に対して、ご家族の理解と協力を得られることに感謝されています。

昨年ハイチの大地震で左足を失った十八歳の少女に義足を提供しましたが、彼女は知らないうちに足を切断されたショックで、学校にいけなくなりました。ところが日本に招かれ、神戸阪神淡路大震災の震災障がい者との交流がきっかけとなって立ち直り、現在外交官を目指して勉強中だそうです。

「このような変化を目的の当たりにした時、自分の仕事は様々な人たちに支えられていることに感謝し、この仕事へのやり甲斐を感じる」とおっしゃっています。今後は母校の後輩たちと一緒に、海外プロジェクトの仕事ができるようになることを期待されています。

入学式の折、ヒールの高いパンプスを履いて凍としていらつした、渡辺和子学長のお姿を鮮明に記憶されており、ご自分も仕事の重要な場面では必ずパンプスを履かれるそうです。そして渡辺学長が山陽新聞に寄稿なさった「自分の身におこるすべてのこと、または責務として与えられるすべての任務に対して『よし』と受諾する勇氣」というお言葉を座右の銘として「自分自身の人生を振り返らずよしと歩み続けていきたい」と力強くおっしゃっています。

## 第一線の女性刑事として

藤原陽子 四二期・国文



現在、香川県の高松北警察署の刑事第一課・強行係の係長として勤務されています。

現代の社会は、ストレス社会とも言われ、犯罪の発生する要因が潜んでおり、殺人・窃盗等の凶悪事件、性犯罪、傷害といった粗暴犯罪の捜査、検視等の責任者として、活躍されている様子を伺い、警察官としての使命感と責任感の強さに敬意を覚えました。深夜や休日の職務もあり、体力的にも精神的にも非常にハードだそうです。理事長の「置かれた場所であれ」「どんな不幸の息を吸っても吐く息は感謝であれ」「この言葉で、私の強い自分をコントロールしてこれたそうです。

「日常的に実際の犯罪に向き合う警察官の仕事は、自分に向き合う事に他ならず、他人の不幸に接するばかりで心苦しいこととの多い仕事です。だからこそ被害者やその家族の方々から『ありがとう』と感謝の言葉を頂けた時には、やりがいを感じる」とおっしゃっています。

これからは罪を犯した人の心に、女性としての優しく根気強い支援の手を差し延べてくださるでしょう。社会生活に根付いた協力和徳養の一助となる一層のご活躍をお祈りいたします。

今年四十歳の節目を迎えられるにあたり、独身生活にピリオドを打って女性としての幸せをつかみたいとおっしゃっておられました。

# 同窓会より

## 同窓会館利用のしおり

### ● 使用できる人

- ① 学生・同窓生及びその家族
- ② 岡山清心女子専門学校及びノートルダム清心女子大学 現旧教職員（客員）及びその家族
- ③ 施設に余裕のある場合、付属校・姉妹校関係者及びその家族
- ④ その他、同窓会会長が許可した者

### ● 使用目的

会合・研修・宿泊

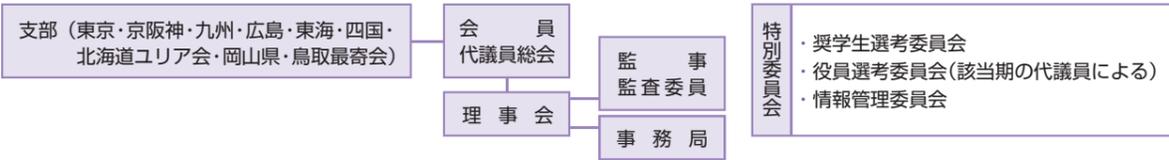
### ● 休館日

日曜日・国民の休日・創立記念日・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

終年会費の納入を  
お願いいたします。

部屋の名称	収容人数	使用料				冷暖房費 超過料金等
		(会議・会合等) 4時間以内				
		平日：9時～16時		土曜日：9時～14時30分		
1 F	第1会議室	25人	3,000円	4,000円		①冷暖房費 ・会議等…1室 700円 ・宿泊…1人 200円 ②会議等の超過料金 ・1時間につき各料金の2割 ③特別に使用する電気代は実費
	第2会議室	14人	1,500円	2,000円		
2 F	うめ(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	
	かえで(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円

## 組織図



## 分掌

講座	奨学金事業	ボランティア	ホームカミング	広報	総務
文化講座 ・着付け・謡曲 ・文学・ペン習字	奨学生選考・指導 奨学生支援事業	ゆめ文庫 ・エンジン ・フリージアの会	ホームカミングデー ・生涯教育 ・チャリティー公演	会報 ・刊行物 ・ホームページ	・財務管理 ・会計 ・会館管理 ・会議・書記 ・支部総括 ・特別委員会

## 住所変更届けのお願い

住所等に変更があった場合は、すみやかにハガキ・FAX・Eメールで同窓会事務局までご連絡ください。

# 支部だより

## 平成二十二年 支部長会報告

平成二十三年二月十九日(土)ノートルダムホール中央棟八階会議室において、平成二十二年の支部長会を開催しました。  
全国各支部から支部長の皆様にお集まりいただき、支部の方々のご活躍が伝わる活発で充実した支部長会となりました。



## 広島支部総会

(平成二十二年七月十一日)



渡辺理事長、高木学長、奥山先生のご臨席をいただきまして、総会懇親会を開催いたしました。和やかでアットホームなひとときを皆様と共に過ごす事が出来ました。次回には、お気軽に「清心スピリット」を感じにいらしてくださいませ。

## 京阪神支部総会

(平成二十二年八月二十二日)



例年になく厳しい残暑の中、渡辺理事長、高木学長、江草先生、小田先生のご臨席をいただき、ホテルグランヴィア京都に於いて、第二十三回京阪神支部総会懇親会を開催いたしました。

## 鳥取最寄り会総会

(平成二十二年十一月二十三日)



渡辺和子学園理事長をお囲みしての和やかな一時。置かれた所で咲きなさい。というお教えを再びいただき、嬉しくも、また心暖まる集いとなりました。

## 四国支部総会

(平成二十二年九月十二日)



初参加の方も多く、理事長・学長・恩師を交えての楽しい語りの中で親交を温め合うことのできた、意義深い集いでした。

## 九州支部総会

(平成二十二年十月十七日)



約六十名の同窓生が集い、語らいやDVD上映を通して岡山への郷愁と母校への愛情を再認識しました。和やかな懐かしいひと時でした。

## 平成23年度 支部総会開催予定表

支部名	日時	場所	招待者(敬称略)	支部長	連絡先
東京支部	9月11日(日) 11:00～14:00	ロイヤルパークホテル	渡辺理事長・高木学長 今田節子・八重樫直比古	浅井洋子	
*京阪神支部				原山裕子	
*九州支部				橋口佳世子	
*広島支部				吉原文音	
東海支部	10月23日(日) 11:00～14:00	ホテルサンルートプラザ 名古屋	渡辺理事長・高木学長 小田朗美	西山昭代	
*四国支部				河原陽子	
北海道ユリア会	9月5日(月) 11:30～	KKRホテル札幌		小池裕子	
岡山県支部	6月5日(日) 10:30～14:00	大学内カリスタホール ラウンジ	渡辺理事長・高木学長	池上淑恵	
*鳥取最寄り会				三輪洋子	

\*の支部は、平成24年度に支部総会を開催する予定です。

## ★ 支部会費納入のお願い ★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いいたします。

第三回同窓会代議員総会

第三回同窓会代議員総会は、平成二十三年五月二十八日（土）、東京支部、京阪神支部、九州支部、広島支部、東海支部、岡山県支部の支部長の参加で開催されました。出席者二十二名、委任状出席二百八十九名により、提出議案はすべて承認されました。

第一号議案

平成二十二年事業報告及び収支決算承認の件

第二号議案

平成二十三年事業計画及び収支予算承認の件



監査報告

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成23年4月20日

ノートルダム清心女子大学同窓会

監査委員 横溝 宏美

監査委員 田中 恵子

監査委員 高橋 みゆ

第十回清心会代議員総会

第十回清心会代議員総会は、平成二十三年二月十九日（土）、高木孝子学長をお迎えして開催されました。

出席者十九名、委任状出席二百七十七名で定足数を満たしており、提出議案は承認されました。

第一号議案

定款変更承認の件

第十一回清心会代議員総会

第十一回清心会代議員総会は、平成二十三年五月二十八日（土）に開催されました。

出席者二十二名、委任状出席二百六十六名で定足数を満たしており、提出議案はすべて承認されました。

第一号議案

平成二十二年事業報告及び収支決算承認の件

第二号議案

平成二十三年事業計画及び収支予算承認の件

第三号議案

清心会解散承認の件

第四号議案

清心会解散に伴う残余財産の処分承認の件

第五号議案

清算人選任承認の件



監査報告

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの平成22年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はないと認める。

以上

平成23年4月20日

社団法人教育振興ノートルダム清心会

監事 横溝 宏美

監事 田中 恵子

監事 高橋 みゆ

平成23年度 文化講座			
講座名	講師	内容	曜日・期間等
文学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑 定員：20人	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回) 14:00～15:30 26,000円(1カ月/2,600円)
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田中 慎子 (更 愁) 定員：各クラス10人	文部科学省後援硬筆書写 検定3級、2級、1級の合格 を目指して公的資格を 取得する。及び実用書の 練習を通して文字の上達 を目指して書の文化にも 触れる。書作品にも挑戦 して生活を楽しむ。	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日 13:30～14:40 ②毎週水曜日 15:00～16:10 18,200円(1カ月/2,600円)
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 睦美 定員：20人	ゆかたから留袖まで自分 で着られるようになる。 和の文化についても学 べ、マナーも身につける ことが出来る。人に着せ 付けることも可能。講師 の資格も取得できる。	5月～7月、10月～2月 毎週金曜日 10:00～12:00 24,800円(1カ月/3,100円)
謡曲・仕舞観世流	日本能楽会会長 京都観世会副会長 職分 林喜右衛門師 定員：10人	能楽の台本である謡を通 し、日本の文化・歴史を 知り、仕舞を通して舞を 学ぶ。	月2回(原則火曜日) 9:30～16:30 謡曲のみ (1カ月)一般5,000円 学生3,000円 謡曲と仕舞 (1カ月)一般8,000円 学生5,000円

★文化講座は、同窓生でなくても受講できます。  
お友達、ご近所の方など、お問い合わせのうえどうぞ。

## ゆめ文庫の活動

- 日 時 第2・第4木曜日 10:00～16:00
- 場 所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内 容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校  
小学部の方)  
②点訳絵本蔵書目録の作成  
③「会報」の点訳(パソコン)

## 平成23年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所 9月18日(日) 13:00～15:00  
(ホームカミングデー) カリタスホール  
11月6日(日) 10:00～14:00  
(大学祭共催) ジュリーホール ラウンジ
- 内 容 手作り品の販売他  
喫茶コーナー(大学祭当日)
- お 願 い 手作り品、タオル、シーツ、日用品、食料品など新  
しいものをご提供ください。(同窓会事務局まで)  
受付期間：7月1日～10月末日  
奨学生支援の寄付金も随時受け付けています。  
同封の振込用紙をご利用いただき、同窓会事務局  
までお届けください。

## ボランティア募集中です

### バザーに出品する作品を、いっしょに作ってみませんか?

- 日 時 第2火曜日・第4土曜日  
10:00～14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場 所 ルルド館 第一会議室

### エンジェル会の活動(旭川荘でのボランティア)

- 療育園 第3・第4土曜日(10:00～12:00)  
子どもたちの話相手、絵本の読み聞かせ、学習、散  
歩、おやつ作り、外出等諸行事(お祭り等)への参加
- 睦学園 第2木曜日(9:30～10:30)  
第3・第4火曜日(10:00～11:00)  
レクリエーション、散歩、買物等の車椅子介助
- 児童院 第3・第4火曜日(12:00～14:00)  
衣類の修繕、簡単な裁縫(上手下手は関係ありませ  
ん) おしめたのみ

皆様のご参加をお待ちしています。

## 清心会の解散について

社団法人教育振興ノートルダム清  
心会は、去る五月二十八日の代議員  
総会において解散が承認されました。  
これを受け、目下、監督官庁である  
岡山県教育委員会に、「解散及び残余  
財産の処分許可申請書」を提出中で  
、県教委からの解散許可がおり次第、  
「解散の登記」及び「清算人の就任登  
記」、官報への解散公告、残余財産の  
引き渡し、「残余財産移転登記」、「清  
算終了登記」等の手続きを経て、最  
終的に「清算終了届」の提出をもって、  
すべての清算業務は終了となります。  
なお、残余財産につきましては、  
定款に則り、すべて学校法人ノート  
ルダム清心学園(ノートルダム清心  
女子大学)に寄付することになって  
おります。

## 第21回 生と死を考えるセミナー

「岡山・生と死を考える会」によるセミ  
ナーが、2011年5月15日(日)岡山市民  
会館で、開催されました。

### テーマ 現代・生・死

- 第1部 講演  
講師 アルフォンズ・デーケン 氏  
「愛と希望のかけはし ～ユーモアのすすめ～」
- 第2部 講演  
講師 井久保 伊登子 氏  
「いのちを支える言葉の力」

## 入試広報部より

### 2011年度 オープンキャンパス日程

- 高松出張オープンキャンパス  
2011年6月4日(土) 13:00～16:00
- 夏のオープンキャンパス  
2011年8月6日(土)・8月7日(日) 12:30～16:30
- 秋のオープンキャンパス  
2011年10月2日(日) 12:30～16:30
- 春のオープンキャンパス  
2012年3月18日(日) 13:00～16:30

詳しくは、ホームページをご覧ください。

入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)  
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

## ありがとうございました

### この春ご退職の先生方へ

- 人間生活学部教授 山本 博和 先生
- 人間生活学部准教授 家光 大蔵 先生
- 人間生活学部准教授 梶谷 恵子 先生
- 人間生活学部准教授 西崎 博子 先生
- 人間生活学部講師 谷口 美香子 先生

## 本学ホームページに「清心アーカイブ」公開中!

本学ホームページに、写真とエッセーで本学の歴史と  
伝統を紹介する「清心アーカイブ」を公開しています。  
卒業生の皆様に懐かしご覧いただければ幸いです。ご  
意見・ご感想・リクエストもお待ちしています。



1957年4月16日に中庭  
(100ND西側)で行われた  
バラのクラス(9期生)の  
新入生歓迎パーティーの  
一場面

## 資料編纂室

TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035  
E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp

※お電話での連絡は月～金 9時～16時(祝・本学休業日を除く)にお願いいたします。

## 蒜山セミナーハウスリニューアル!

### ご利用お申込み先

ノートルダム清心女子大学 学務部 学生係  
TEL 086-252-5039 FAX 086-252-5715

## ノートルダム清心女子大学公開講座

### A. 社会人講座IX(前期講座)

時間:1:30～4:00p.m.  
教室:630ND  
定員:150名

#### 【ここからたの健康(健康)を考える】

- 5月28日(土)  
聖書に学ぶ魂の健康 本学キリスト教文化研究所准教授 山根道公  
一神と人・人と人との絆の回復  
江戸の心学 本学人間生活学科教授 横山 學  
一往來物にみる一
- 6月11日(土)  
支え合うこころ・つながるこころ 本学人間生活学科教授 杉山博昭  
子どもたちの心の健康 本学現代社会学科准教授 山下美紀
- 6月25日(土)  
学びにおける心と体 本学現代社会学科教授 小林修典  
いま一度見直す睡眠習慣 本学児童学科教授 石原金由
- 7月9日(土)  
心理療法家が語る子どもの教育 本学児童学科教授 平松清志  
心と体を一体にとらえて 本学児童学科講師 安江美保  
一身体感覚の豊かさは、心の豊かさ一
- 7月23日(土)  
ご飯がささえる日本人の健康 本学食品栄養学科教授 菊永茂司

### B. 考古学の世界I(前期講座)

時間:1:30～3:30p.m.  
教室:640ND  
定員:150名

#### 【ヒッタイトの起源にせまる —トルコ共和国キュルテペ遺跡発掘調査—】

- ① 6月18日 ② 7月2日 ③ 7月16日 (①～③すべて土曜日)

本学現代社会学科准教授 紺谷亮一

### C. 実技講座X(後期講座)

時間:1:30～4:00p.m.  
教室:美術室(814C)  
定員:16名

#### 【石膏デッサンを楽しむ】

- ① 10月1日 ② 10月8日 ③ 10月15日  
④ 10月22日 ⑤ 10月29日 (①～⑤すべて土曜日)

本学児童学科教授 片山裕之

### D. 聖書の世界XIX(後期講座)

時間:1:30～3:30p.m.  
教室:630ND  
定員:150名

#### 【文学にみる生と死】

- 10月22日(土)  
福者ハインリッヒ・ソイゼの人生行路とその著作 上智大学教授 ユエルグ・マウツ
- 11月12日(土)  
死との葛藤から生を見つめる 本学英語英文学学科教授 赤松佳子  
—英米作家の作品から—
- 12月3日(土)  
遠藤周作『深い河』における生と死 本学キリスト教文化研究所准教授 山根道公

### 申し込み・お問い合わせ

## ノートルダム清心女子大学「公開講座委員会」

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9  
TEL 086-252-2751(平日8:30～16:30) FAX 086-252-5042  
ホームページ http://www.ndsu.ac.jp E-mail: opc@post.ndsu.ac.jp

## ホームカミングデーのご案内

平成23年度 ホームカミングデーを以下の日程で開催いたします。  
お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。クラス会にもご利用ください。

- 日 時： 9月18日(日) 10:30～15:00(受付10:00から)
  - 場 所： ノートルダム清心女子大学 カリタスホール
  - 内 容： 10:30 生涯教育講座【すべてのこどもにこども時間を～クリニックラウン(臨床道化師)の世界～】講演  
～12:00 特定非営利活動法人 日本クリニックラウン協会 事務局長 臨床道化師 塚原成幸氏による講演  
クリニックラウンは、入院生活を送る子どもの病室を定期的に訪問し、遊びや関わり(コミュニケーション)を通じて、子どもたちの成長をサポートし、笑顔を育む道化師のこトです。
- 12:30～ 同窓生の集い・昼食  
・箏曲演奏(21期・英文 杉田洋子)

- 参加費： 3,000円(昼食代含む)
- 締 切： 7月29日(金)振り込み分まで
- 申し込み方法： 同封の振り込み用紙をご利用ください。  
(振り込み確認で受付完了となります。  
チケットの発行はいたしません。)

※ 午前中の生涯教育講座は、一般の方のご参加も歓迎いたします。(無料)  
お友だちをお誘いの上、ご参加下さい。(お申込みは、同窓会事務局まで)  
※ バザー部員による手作り品の販売もいたします。

- 注 意 事 項： 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。



### お知らせ

会報第46号で2011年7月18日に予告していましたが、第5回チャリティー公演は延期となりました。ご了承ください。

### ● 題字 ● 表紙

高木聖鶴  
ルルド館(同窓会館)

同窓会の活動拠点である  
ルルド館をのぞむ。

### お問い合わせ

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9  
ノートルダム清心女子大学同窓会  
社団法人 教育振興ノートルダム清心会  
TEL&FAX (086)253-8496  
E-mail:rurudo@theia.ocn.ne.jp

### ノートルダム清心女子大学の ホームページ

<http://www.ndsu.ac.jp/>

を開いて卒業生の方へをクリックして  
同窓会をクリックして下さい。

### 個人情報の 取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

#### (情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会・(社)教育振興ノートルダム清心会からの連絡送付

● 同窓会・各支部・各支部会の活動支援

● 会員確認調査

● 会員名簿の作成

の目的範囲を超えて使用及び提供はしない。

#### (会員からの申請)

会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

### 編集後記

会報第47号ができました。心痛む記事が重なってしまいました。東日本大震災で被災された皆様には、紙面の制約もあり、お見舞いの意を十分に尽くすことができなかったことをお詫びいたします。どうか一日も早い復興を同窓生一同心よりお祈り申し上げます。

会報へのご意見、ご感想などを広報部までお寄せください。

#### 会報編集委員

八 期・国文	石井 良枝
十五期・国文	実光 詔子
十八期・英文	宮尾 裕子
二十四期・英文	永瀬ひさ乃
二十六期・英文	横溝 洋子
二十八期・家政	片岡 一恵
二十八期・家政	河原 秀子